

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和7年 3月 20日

事業所名 てらびあぼけっと名古屋名城公園教室

保護者等数(児童数):26 回収数:26 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25件	1件	0件	0件	・整理されており清潔感のある空間だと思います。 ・子どもの活動のスペースは十分だが支援終了後の保護者と職員の方が話すスペースがせまい気がする。 ・集団と個別それぞれのスペースで活動ができていると感じます。 ・活動に問題ない広さだと思います。	フィードバック時はなるべく分散してお話ができるよう対応させていただきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	25件	1件	0件	0件	・マンツーマンでABA療育を手厚く行っていただいている。 ・職員により専門性のバラつきがあると思う。 ・特に不満に感じたことはありません。	様々な職種の職員で支援に携わっておりますので今まで以上にお子さまにより良い支援ができるよう努めて参ります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26件	0件	0件	0件	・特に不満に感じたことはありません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26件	0件	0件	0件	・いつもクールが終わる度に掃除と整頓をしてくれています。	
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	26件	0件	0件	0件	・保護者の気持ちに寄り添い丁寧にカウンセリングしていただいています。保護者とは面談や送迎時に意見や相談など行い把握しながら子どもが無理なく出来るチャレンジを取り入れていただいています。 ・日常生活で困っている事を伝えるとプログラムに入れて下さるので助かる。 ・生活での心配事をプログラムに含めてくれている。 ・とても丁寧に個別面談をしていただき、ニーズや課題を汲み取って作成していただいている。 ・しっかりとしたヒヤリングをもとにして支援計画を作成してくれています。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25件	0件	0件	1件	・半年間事に目標が決まるのでそれに向けての支援があるので目標達成が出来ているか理解しやすい。 ・しっかりとしたヒヤリングをもとにして支援計画を作成してくれています。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24件	1件	0件	1件	・計画に沿ってセラピーの内容を終了後に伝えて下さいます。 ・スモールステップで支援計画に沿った支援を目標に向かっていただいています。 ・苦手なことや伸ばしてほしいことを計画してくれるので安心です。 ・支援計画に沿いつつ子どもの状況や成長具合も加味した支援をしてくれています。	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	24件	1件	0件	1件	・達成したら少しレベルが上のプログラムに移行して下さいます。 ・ルーティーン化しない様な配慮がされていると思う。 ・うまくいかなかった時は次のプログラムを考えて進めてもらっている。 ・苦手なことを取り入れ、かつパターンを変えてやってくれていると思います。 ・支援計画に沿いつつ子どもの状況や成長具合も加味した支援をしてくれています。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6件	2件	7件	11件		
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26件	0件	0件	0件	・通所する際に丁寧に説明をしていただきました。	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	26件	0件	0件	0件	・半期ごとにヒヤリングに基づいた計画書を作成の上、作成内容についてもご説明下さいます。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	13件	4件	4件	5件	・今後、機会があれば参加したいです。 ・日々のやり取りでも小さな悩み事を含めていつも心を砕いていただいています。	保護者様のご無理のない範囲で、お子様との関わり方をご助言させていただきます。ご希望の際はその旨をお伝えください。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26件	0件	0件	0件	・発達や体調面など細やかにコミュニケーションをとってくださいます。 ・子どもの成長や課題での出来事を説明してくれます。 ・毎回プログラムについて説明されるので理解している。 ・報告書だけでなく記載していないことも含めて子どもの様子を教えてもらっています。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25件	0件	0件	1件	・常に支援を頂きお世話になっています。 ・面談のヒヤリングが丁寧にプログラムにすぐ取り入れていただける。 ・困り事について聞く体制が取られていると思う。 ・その時悩んでいる事をアドバイスしてもらえるのでその都度相談したいと思います。 ・半期に一度の面談やセラピー後の報告の時間に相談に乗っていただいています。	

	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12件	1件	6件	7件	・保護者交流会を開催していただき情報を共有できて良かったです。 ・年長さんの保護者に向けて卒業生の保護者の方も含めた交流会を開催していただきました。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26件	0件	0件	0件	・家庭での困りごとについてメッセージのやりとりだけでなく直接話を聞いてくれます。 ・気になる事や心配なこと、困り事を伝えるとアドバイスや元気になるパワーを貰っています。 ・子どもの様子を常に確認されるので伝達しやすい。 ・子どもの要望や保護者からの相談に対していつも迅速に対応していただいています。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26件	0件	0件	0件	・毎回の連絡帳とフィードバックでとても丁寧に対応をいただいています。 ・受け渡し時に伝達するので伝えやすい。 ・職員によりバラつきがあり本日やった事がノートに書かれているがそれを読み上げるだけの人もいればその時の様子を詳しく話して下さる人もいます。 ・セラピー後に必ず担当して下さった先生とお話ができるので意思疎通に不満はありません。	今後もフィードバック時では普段見られない事業所での姿もお伝えできればと思います。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	22件	1件	1件	2件	・ブログやInstagramで知らせているので様子がわかります。 ・インスタで見えています！ ・定期的に写真付きでブログを更新して下さるのでセラピーの様子等が垣間見ることができます。	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	25件	0件	0件	1件	・ブログに掲載する写真も確認した上で顔はスタンプ等で隠す配慮を下さっています。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20件	1件	0件	5件	・避難訓練を行っていたりするとブログで発信してくれています。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17件	1件	0件	8件	・Instagramやブログで確認させていただきました。 ・避難訓練をした日にお話を聞きました。 ・避難訓練を行っていたりするとブログで発信してくれています。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	26件	0件	0件	0件	・とても楽しく通っています。 ・ストレスがたまると行き渋りがありますが先生に会うと喜び、帰宅時は笑顔です。自信が付き色々な事にチャレンジしています。 ・行くのヤダーと言う時もあるが帰ってくると楽しかったよと言う。 ・通所日は朝から楽しみにしています。 ・「今日はてらびあほけつ？」と聞いてくるほど楽しく通っているようです。 ・エレベーターを降りると嬉しそうに行くので楽しみにしていると思います。 ・いつも楽しみにしており、通所予定日でなくても行きたかったと言うことも多々あります。	
	23	事業所の支援に満足しているか	25件	1件	0件	0件	・いつもありがとうございます。 ・いつも丁寧に対応していただきありがとうございます。色々とお願ひすることも多く申し訳ないですが引き続きよろしくお願ひします。 ・事業所間連携を利用させていただきました。子の支援と理解が深まる良い機会となると思います。いつもありがとうございます。 ・いつもあたたかく支援をしてくださっています。ありがとうございます。 ・子どもだけでなく保護者も一緒に支援、成長をさせて貰いとても感謝しています。 ・個別と小集団とプログラムがあるので理想的だと思います。 ・ABAを基にスモールステップで子どもに「できた！」の成功体験を積ませてくれるので先生方には感謝しております。 ・一人ひとりに合った支援をもらい、ゆっくりでも伸びていっているので大変満足しています。 ・大変満足しております。こちらのサービスを受けることができてよかったですと常々思っています。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 3月 20日

事業所名 てらびあぼけっと名古屋名城公園教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6件	0件	・子ども一人に一つの個室を用意している。・利用人数が個室数を超えないように調整している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	6件	0件	・子ども一人に対し一人の職員がつくようにしている。・マンツーマンの体制が常に取れている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6件	0件	・活動ごとにスペースを分けるよう工夫をしている。・個室内に飾りなどは置かずシンプルで集中しやすい空間を作っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6件	0件	・毎日掃除機や消毒を徹底し、細かいほこり等も取り除くようにしている。・毎支援後に教室や玩具の消毒を行っている。・毎月整備点検を行いより良い空間環境になるよう話し合いをしている。汚れやゴミはすぐに取り除き快適に過ごせる工夫をしている。毎日の掃除、毎クール後の消毒を徹底している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6件	0件	・定期的に職員が発見管との面談を行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6件	0件	・毎年行っている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6件	0件	・毎年行っている。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6件	0件		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6件	0件	・定期的に様々なテーマで研修を行っている。	今後さらに充実させていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6件	0件	・アセスメントを丁寧に行い、ひとり一人のニーズに沿った計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6件	0件	・客観的な状況把握のため、原則共通のデータシートを使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6件	0件	・ガイドラインに沿って支援の方針を決定し、作成をしている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6件	0件	・個別支援計画に沿ってプログラムを実行している。・児発管と担当職員で共有し日頃から確認しながら支援している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6件	0件	・担当の先生以外の先生も意見を出しプログラム立案に取り組んでいる。・ひとりのお子様をなるべく2人以上で担当している。複数人で話し合いプログラムを進行している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6件	0件	・プログラムによって苦手にならないよう変化を入れつつプログラムを行っている。・お子様のその時の発達段階によって作成をしている。お子様に合わせ常にプログラムをより良いものに更新している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	6件	0件	・毎クール感らず個別と小集団両方の時間を確保している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6件	0件	・朝礼で注意点などを確認し担当職員で引継ぎ・打合せを行っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6件	0件	支援や保護者へのフィードバックについても些細なことでも共有している。口頭やメモ等で担当職員、児発管に内容を共有している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6件	0件	・些細なことでも記録し、どうすべきか話し合うことが徹底されている。・データシート、連絡帳にできるだけ細かく記録をしている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6件	0件	・半年に一度のモニタリング面談だけでなく常により良い支援が行えるよう話し合いをしている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6件	0件	・児発管や担当職員が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6件	0件	・療育センターや子育て応援拠点と定期的な連絡が行われている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	件	件	・現在、重度心身障害のある子どもの利用はない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	件	件	・現在、重度心身障害のある子どもの利用はない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6件	0件	・お子さまのサポートに大切なことを具体的にまとめ、サポートブックとしてお渡ししている。必要があれば円の見学や担任の先生との連絡・支援の共有を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6件	0件	・サポートブックを作成し新しい環境にもなるべく円滑に過ごせるようにハトンを渡している。	今後も要望があれば可能な限り協力していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6件	0件	・利用者が通所している他の事業所と会議を行い同じ対応を行えるよう共有している。・事業所連携を行いお互いの支援の状況を共有している。定期的に連絡を取り必要があればプログラムの見直しを行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2件	4件	・お子様同士の交流はないが保育園等に見学に行くことはある。	ニーズや必要性があれば検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5件	1件	・自立支援協議会へ積極的に参加をしている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6件	0件	・プログラムでの様子や他児との関わり等を分かりやすいように伝え子どもの様子を共有している。・保護者の方が相談しやすいよう傾聴の姿勢を心掛けている。毎クール後の保護者へのフィードバックやご希望に応じてご相談をお受けする時間を設けている。	
保護者への説明等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5件	1件	・ご相談があった際には適切な対応方法をお伝えしている。動画をお見せして説明する等支援の共有をしている。	保護者様にも無理のない範囲でお子様のご関わりをご提案していく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6件	0件	・契約時に読み合わせをしながら説明をしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6件	0件	・支援開始前に保護者様に説明をしながら同意を得て、支援を開始している。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6件	0件	・日々のフィードバックの中で相談しやすい雰囲気作りを心掛け抱え込まない体制を作っている。・保護者に寄り添い一緒に考え対応している。・悩みにしっかりと耳を傾け、他の職員にも共有し支援を行っている。・定期面談で十分な時間を取ると共に、フィードバック時やセラピーの時間、電話での相談に応じ必要な助言を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6件	0件	・年長児の保護者向けに交流会を実施した。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6件	0件	・職員間で共有し意見を出し合い対応している。・相談があった場合は共有し意見を出し合い、保護者に寄り添い、改善していくよう共に考えている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5件	1件	・おたよりやLITALICO発達ナビ、Instagramで支援の様子を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6件	0件	・個人情報保護法に沿って対応をしている。活動の写真掲載の際にも顔や名前・制服に配慮し、特定ができないようにしている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6件	0件	・お子さまの特性や、保護者様方の状況を加味しながら、最善の方法をとるようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2件	4件	・事業所の行事は実施していないが、他施設・他機関からの見学希望等には積極的に対応している。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6件	0件	・すぐ確認ができる場所に感染症マニュアルを置き、連絡があった際でも迅速に対応できるようにしている。マニュアルを作成し職員会議の場で全員で周知できるようにしている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6件	0件	・地震、火事等を想定して行った。お子様にも参加してもらい、セラピーの中で避難訓練を行った。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6件	0件	・職員会議などで資料を配布し、職員間の共有をしている。	

非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6件	0件	・アレルギーの有無、対応について朝礼で確認をしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6件	0件	・小さなことでもヒヤリハットに書きとめ、全員で確認をしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6件	0件	・虐待防止委員会を設置し、定期的なチェックリストの実施と、研修を行なっている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6件	0件	・身体拘束の三要件については研修を行い、職員全員で確認をしている。まだ事例はないが今後必要になってきた場合には保護者様と話し合い対応していく。	

## 事業所における自己評価総括表

公表	令和7年3月20日		
○事業所名	てらびあぼけっと 名古屋名城公園教室		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日 ~ 令和7年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ~ 令和7年2月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月15日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援(ペアレントトレーニング)で保護者様の困り事に対してのアドバイスや一緒に悩みながらご家族との協力体制をつくり上げていけていること。	どんな小さなことでも拾い上げられるよう、セラピーノート(連絡帳)を活用し、なるべくご記入頂ける様にお声がけをしている。気さくにお話できる雰囲気づくりを心掛けている。	職員全体でご家族のフォローアップが出来る様に、意識の底上げをしていく。
2	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	お子さまが楽しくセラピーを行えるよう制作の取り組みにも力を入れている。	職員同士相談し合って意見を出し合っている。
3	移行支援として小学校や特別養護学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	サポートブックを作成し新しい環境にもなるべく円滑に過ごせるようにバトンを渡している。	今後も要望があれば可能な限り協力していく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流会の実施	年長児の保護者向けにしか交流会を行っていない。	ニーズがあれば年齢別など保護者交流会の検討をする。
2	地域の保育施設との連携が少ない	児童部会でしか情報を得ることが出来ない。	積極的に見学などに出向くようにしていく。
3	フィードバックを行う場所がせまい	密集してフィードバックを行っている。	分散してフィードバックが出来るよう対応していく。